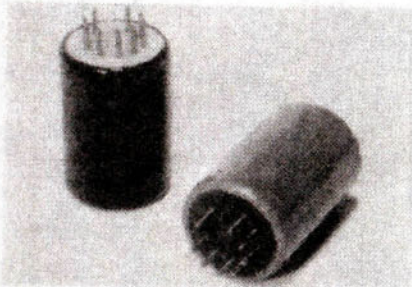


国内新製品紹介

山水のマイク入力用 トランス "A-603"

これは同社製のミキサー・アンプ MX-10 のローインピーダンス型マイク用のマッチング・トランスで、mT 管と同線の 9 ピン端子のケースに入っているので mT 管のソケットに差込んで使うことができる。超小型(直径 23 mm、高さ 35 mm)で 43 gr という軽量なもので、外部ハムを拾われぬように緻重なパーマロイ・シールドが施されている。規格は 1 次側のインピーダンスは 600 Ω 平衡型または不平衡型、2 次側は 50 kΩ 不平衡型、周波数特性 30~15000 c/s -1 dB 以内、小売価格は ¥2,150。

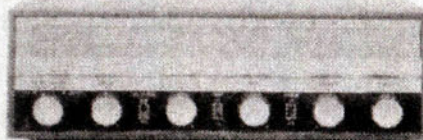


(東京都杉並区和泉町 460)

山水電気 KK

トリオのステレオ・ アンプ "W-12" 型

W-12 型は FM つきのステレオ・トワイ・アンプである。規格を列記すると、使用真空管 6AQ8, 6BA6×2, 6AL5, 6BE6, 12AX7×4, 6BD6×2, 1H3, 6CA4 の計 13 球、受信周波数は 535~1605 kc, 3.6~11 Mc と FM の 80~90 Mc、アンプはステレオ用として 6W 型 2 台となっているが、シングルとして 12W 型で使用することもできる。左右のスピーカーの音量も音質も一つのつまみで簡単に調節できる。PU はバリウム、クリスタルいづれも使える。イコライザーは RIAA、トーン・コントロール 50 c/s +14~-12 dB, 10 kc +16~-18 dB, 出力端子は 8 Ω, 16 Ω, 32 Ω (2 組) である。外形寸法は横 400×高さ 125×奥行 210 (mm) で重量は 9.6 kg 正価は ¥26,700。



(東京都大田区調布千鳥町 74)

春日無線工業 KK

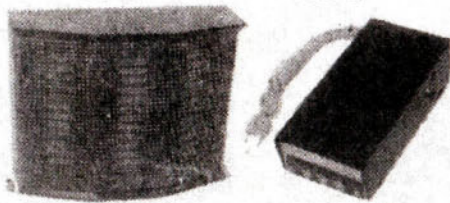
グレースの新製品 2 種

●コンデンサー・トワイター "ST13"

同社のコンデンサー・トワイター ST-2 と同一の要素を 3 個、特性をそろえて木製キャビネットに収めたもので、広いサービス・アングルと大きな出力が得られる。周波数特性は 2500~25000 c/s, 最低周波数 3500 c/s, 静電容量約 5000 pF, インピーダンス約 3 kΩ (10000 c/s), サービス・アングル 120° 以上, 耐圧 DC 1000 V 以上, 音圧レベル約 102 dB (10000 c/s), 外形寸法 280×215×110 mm, 重量は 1550 gr, オーディオ電圧 100 V, バイアス電圧 300 V, 正価は ¥5,800。

ST-13

STN-20



●コンデンサー・トワイター用昇圧 ユニット "STN-20"

コンデンサー・トワイターにはバイアス電圧が必要なので、普通のアンプにそのままつなぐわけにはゆかないが、同社の ST-2, ST-3, ST-13, ST-14 にこの昇圧ユニットを併用すればアンプの VC 出力端子に簡単に接することができ、ごらんのようなメタル・キャビの内部に 8 および 16 Ω からトワイターの動作レベルまで昇圧するステップアップ・トランス、4000 c/s のクロスオーバー・ネットワーク、バイアス電源回路が納められている。バイアスは AC100~117 V をセレン整流し 280~330 V を得ている。入力インピーダンス 8, 16 Ω, 最大許容入力 30 W, 周波数範囲 4000~25000 c/s, カットオフ 4000 c/s, 減衰度 12 dB/オクターブ, 外形寸法 180×85×60 mm, 重量 600 gr, 正価は ¥2600。

(東京都品川区大井元芝町 870)

品川無線 KK

日立テレビ "シルビア" FY-440

前に出した "シルビア" FY-450 の姉妹品で、日立の HH シリーズの真空管 4R-HH4, 5M-HH3 をチューナーに使って高感度を得ている。使用真空管はブラウン管別で 15 球で、音声出力は 1.5 W 消費電力は約 120 W, スピーカーは 16 cm 型で、日立ごじまんのスイッチを入れるたびに音圧調節を必要としないワンタッチ



スイッチ・システムをとっている。ボリューム式トーン・コントロール、イヤホン装置もついている。またチャンネル切換えのリモコン装置もつけられるようになっている。正価は ¥61,000, リモコン装置は別売でイヤホン 2 個つきで ¥3,200。

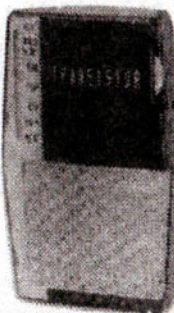
(東京都千代田区丸の内新丸ビル内)

日立製作所 KK

東芝の新製品 3 種

●6 石ポケット・ラジオ "6TP335"

2S52, 2S53×2, 2S54, 1N60, 2S58×2 という 6 石 +1 ゲルダイのスーパーで、受信周波数帯は 535~1605 スピーカーは 6 cm 型, 電気の出力 70 mW, 電池は 9 V (006 P), アンテナはフェライトコア・アンテナ自蔵の他に 2 m の補助アンテナつき, 外形寸法は幅 670×高さ 113×厚さ 29.5 mm, 重量は電池とも 280 gr, 現金正価は ¥7,200。



●ファミリー・ステレオ電音

2 バンドつきステレオ・アンプ TAS-31, ステレオ SP システム TSS-32, ステレオレコード・プレーヤー TPS-16, を組合せたものである。TAS-31 は受信周波数 535~1605 kc, 3.9~12 Mc の 2 バンド, 使用真空管は 12BE6, 12BA6, 12AX7, 30A5×2, 1N34A, セレンとなり、出力は無歪で 1.5 W×2, 最大 2 W×2, 消費電力は 60 VA, 外形寸法は幅 410×奥行 310×高さ 505 (mm), 重量 9.5 kg である。

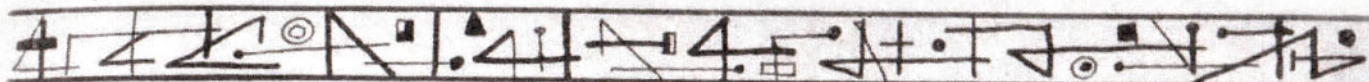
TSS-32 は 20 cm オイル・ダンプ式スピーカー 2 個, インピーダンス 4 Ω, 外形寸法は幅 335×奥行 310×高さ 505 (mm), 重量 10 kg (左有一組), TPS プレーヤーは既発売の 4 スピード・ステレオ・プレーヤーである。

正価は TAS-31 型 ¥21,000, TSS-32 型 ¥12,500, TPS-16 型 ¥5,900 の計 ¥39,400 で、この組合せを東芝ファミリー・シリーズ 101 と総称している。



●フォノラジオ TRE-22S

5 球 2 バンドのラジオつき電音で、スピーカーは 8 (20 cm) 型と 5 (12 cm) 型の 2 個がついている。ピックアップはステレオ方式, LP

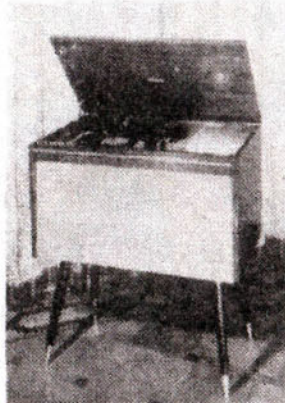


兼用、SP とターンオーバー式である。モーターは4スピード

2極インダクション速度調整器付である。外形寸法は幅 700×奥行 426×高さ 821 (mm) で、重量は 22.5 kg である。

フォノラジオは ¥44,800 で SP システムは ¥18,000 である。

(東京都千代田区有明 2 の 3 朝日新聞社内)

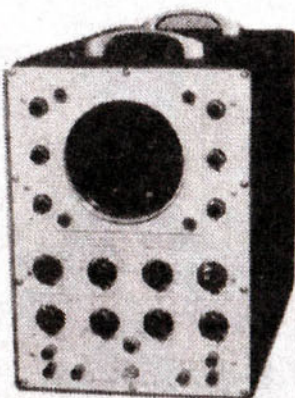


東京芝浦電気 KK

デリカのオッシロ "2015"

本機は 2c/s~5 Mc という広帯域で、増幅利得 60dB の優れた直線性をもったものである。出力 6CL6 pp 方式でブラウン管面にフィルターおよび写真撮影用日盛板照明があり、CANON Photo Unit による撮影が可能である。

長時間使用の際にブラウン管を保護するためのビーム・スイッチを有し、スイープ回路にはマルチ・パイプレーターによって 20 c/s ~ 500 kc を 5 レンジでカバーし、ライン・スイープも可能である。耐漏回路



として、掃線消去、位相調整 (0~135°)、輝度変調、較正用電圧 (1V p-p) を持っている。使用真空管は C.R.T. 5CP1 または 5JP2、垂直軸アンプ 12AT7×2、掃引発振器および掃線消去 12AT7、6CB6、電源回路は 5Y3GT、1V2、6C4。外形寸法は 340×230×480 (mm) で重量は 27 kg である。正価は ¥125,000。

(東京都港区麻布竹谷町 6)

三田無線 KK

ソニーの新製品 2 種

●エイトコーダー "TC-288"

ソニーで完成したソニーシーク方式 (音と画面を同期させるための装置) を組込んだ携帯に便利なものである。普通のテープ・レコーダーの性能に加えて、簡単な操作で 8 ミリの画面と音との同期がとれる。使用テープは最大 7 型ま

前月号の本欄において紹介しました武蔵野商事 KK で TV フィルターの Airola とかいたのは Aviola の誤りでしたので、ここに訂正いたします。

で、半幅ダブル・トラック方式、テープ速度は 19cm 9.5cm の 2 段である。使用真空管は 12AD7、6BM8、6X4、6E5M、1T22G×2 で、スピーカーは 10×15cm の楕円型がついている。電気的出力は 2W、消費電力は 65 VA、外形寸法は幅 400×高さ 180×奥行 345 (mm) で、重量は約 13.2 kg である。正価は付属品とも ¥48,000。



●高級 Hi-Fi テレコ "601" 型

最大 7 型リール使用で速度は 19cm と 9.5cm の 2 つである。16cm と 6.5cm の 2 つのスピーカーを備え、トーンコントロール、VU 計もついている。モーターは四重ヒステリシス型で多少の電圧変動にも影響されず、大型のフライホイールおよびスタビライザーとテンション・アームによってワウ・フラッターを少なくするなど高級化されたものである。使用真空管は 12AD7×2、12AU7×2、12AT7、6BQ5、6AR5、6CA4 で出力は最大 5.5 W、消費電力は 110 VA。周波数特性は 19cm/秒 のとき 40~16,000 c/s となっている。歪率 2% 以下、S/N 比 50dB 以上、消去率 70dB 以上、バイアス周波数は約 80kc。外形寸法は幅 400×高さ 550×奥行 240 (mm)、重さは約 20 kg である。正価は付属品とも ¥75,000。



(東京都品川区北品川)

ソニー KK

ビクターの新製品 2 種

●7石 2 バンド "7TA-2"

使用しているトランジスターは MC103、0C45×2、0C71×2、0C72×2、0A70 (ダイオード)×2、MA23 (バリオード) の 2 バンド方式で、アンテナはフェライトコア (140×10φ) 自蔵。ロッド・アンテナ (8 段) 付、スピーカー 8cm 型、電源は 6V (単 3×4 又 4AA)、外形寸法は高さ 103×幅 173×奥行 42 (mm)、重量は電池とも 800 gr。正価は ¥11,900。

●小型 7 石 2 バンド "7TA-3"

石の配列は前記 7TA-2 型と全く同じ 2 バ



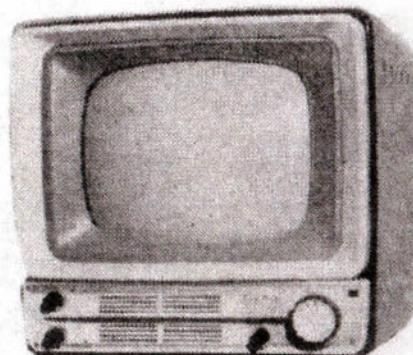
ンド・ラジオで、スピーカーは 6cm パーマネントで、出力は 100 mW。アンテナは 10φ×100 (MW, SW 共用) のフェライトコア・アンテナ自蔵で、ロッドアンテナ 8 段切伸しつき。イヤホンにはビクター・マグネチック MR-1 型 1 個付、電源は 9V (BL-006P)。外形寸法は高さ 68×幅 130×奥行 33 (mm) で、重量は 350 gr である。現金正価は ¥10,900。

(東京都中央区日本橋本町 4 の 1 の 1)

日本ビクター KK

佐藤無線の TV キット "14PT-II 型"

同社のビジョン・デフラックス "14PT-II" は写真でごらんのような 14 型、前面スピーカーのものである。完全電源トランス式で、水平、垂直、音声の各出力回路を除いて配線調整のみである。

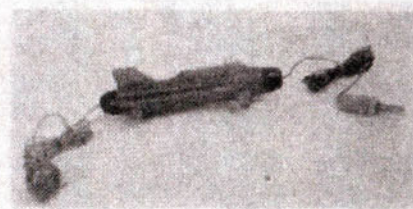


(東京都千代田区神田仲町 2 の 3)

佐藤無線 KK

村山無線のゲルマ・ラジオ "G-61 型"

超小型のゲルマニウム・ラジオは写真のようなジェット機型のもので、先端にアンテナ・リード、後方にイヤホンがついており、スライド式の μ 同調方式を採用している。現金正価は ¥480。

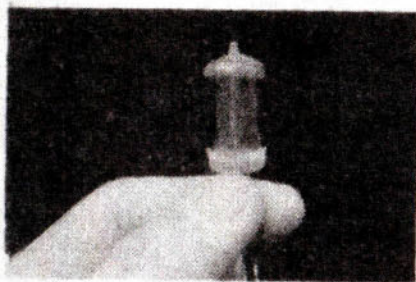
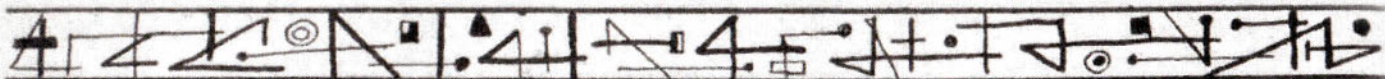


(横浜市神奈川区白幡町 118)

村山無線 KK

吉田通信機の超小型ガイガー管

長さ 30 mm、直径 14 mm という非常に小さいガイガー管である。これにより超小型の放射線のカウンター装置が作れるわけである。主な規格はプラトローは 630~730 V、使用電圧は 680 V。



(東京都品川区南品川 6 の 1495)

吉田通信機製作所

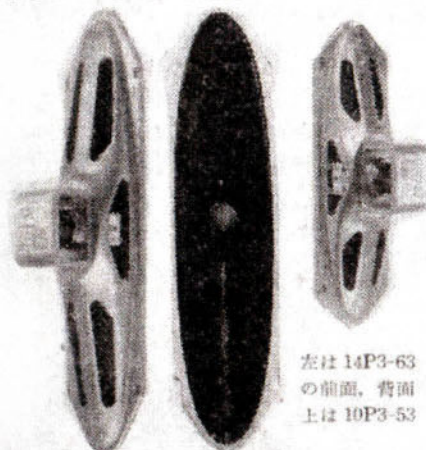
ナショナル新製品

●長楕円スピーカー 3種

写真でごらんのようなものすごく長いスピーカーが売り出された。これらの規格を列記すると

	14P3-63	10P3-53	JP-603
公称寸法(cm)	35×9	25×8	15×8
公称入力(W)	3	3	2
V.C.インピーダンス(Ω)	3	3	3
V.C.口径(mm)	19	19	14
再生周波数 c/s	90~8,000	120~8,000	
空隙磁束密度(gauss)	9,500	8,000	7,000
総重量(kg)	0.63	0.5	0.38
最大外径(mm)	360×88	250×78	156×80
取付寸法(mm)	250×77	180×66	112×58
パッフル開口(mm)	344×73	230×65	143×68
奥行(mm)	76.5	71.5	52
耐湿 OPT (一次側)	ナシ	ナシ	7~12kΩ

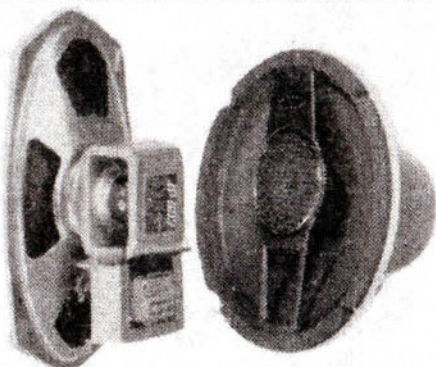
正価は 14P3-63 が ¥1,500, 10P3-63 が ¥1,100, JP-603 が ¥730 である。



左は 14P3-63 の前面、背面上は 10P3-53

●複合型スピーカー “8P-X2”

特に頂角の浅いコーン紙形状をウーハーに採用し不必要な高域の再生を防止している。同社独自の楕円コングレーションによって干渉音を防止し中音域の特性を上げている。トワイターのコーン紙のダンピングにはエッジの表裏面にポリエステル樹脂を高熱加工により焼付けてその効果をあげている。公称入力 10W, 最低共振周波数は 50~70c/s, 再生範囲 35~16000 c/s, クロスオーバー 3000c/s, 出力音圧レベル 99dB, VC インピーダンスは 8Ω (400c/s 20°C), 最大外形 207mm, 取付寸法 193mm, 奥行寸法 109mm, パッフル開口 180mm である。なおこの型には OPT 付きのものもある。



JP-603

8P-X2

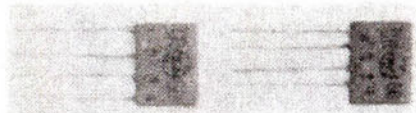
●ステレオ用ピックアップ“STX-52”

カートリッジは同社の SC-501 クリスタル型で ST-LP/78 両用のターンオーバー方式になっている。出力は AT-LP が 0.8V, 78 が 0.6V, クロストーク 1000c/s にて 15dB 以上, チャンネル・バランス 1000c/s にて 3dB 以内, 針圧 8g, アーム全長 255mm である。正価は ¥2,300。



●CR 複合部品 3個

スピーディな配線をするのに便利で、セミラック基板に抵抗、コンデンサーと一緒に印刷したものである。CR-60 は低周波増幅回路用、CR-80 は低周波段間結合回路用、CR-101 は TV の積分回路用となっている。正価はいずれも ¥60。

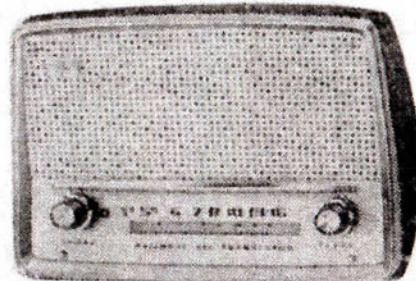


(大阪府北河内郡門真町)

松下電器産業部品事業部

●6石のルーム・ラジオ “DT-270”

0C44, 0C45×2, 0C-72, 0C76×2, 0A-70×2 のシングル・バンドの卓上型である。感度は 150μV/m/10mW, 出力は無歪 250mW, 最大 350mW, スピーカーは 16×10cm の楕円型がついている。外径寸法は幅 240×高さ 170×奥

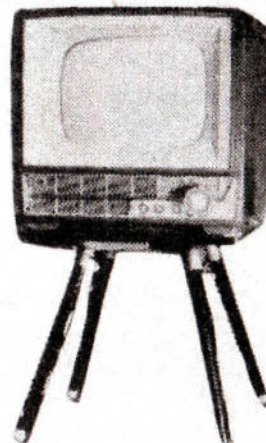


行 145mm で、重量は 1.85kg である。正価は ¥8,900。

(大阪府北河内郡門真町)

松下電器産業ラジオ事業部

フルタカの TV キット “FP-60”



古鷹無線からリモコン装置付きの 14 吋 TV キットが発売された。オール・プラスチック製の前面パネル、25×8cm という長楕円のスピーカーを使っている。本キットはワンタッチ・コントロール・システムを採用し、パイロットランプによるチャンネル・イン

ジケーター付である。

正価はオール・キット ¥29,800

リモコン付 ¥32,800

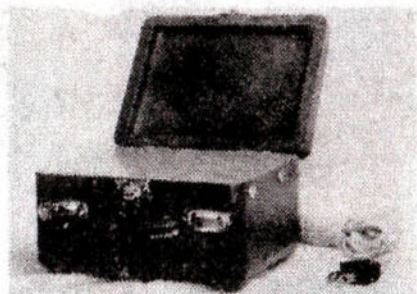
(東京都千代田区神田花房町 5)

古鷹無線 K. K.

東京録音のテレコ・アクセサリー 2種

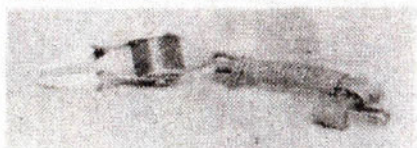
●テープ・イレーサー “TE-901”

これはテープの残留磁気を消磁するもので、小型軽便でレザー・ケースに収められている。使用電圧は AC 100~115V 50/60cs, 入力消費電力 100V 3.4A, 磁束密度は鉄心から 1cm 以上離れた点で約 3500 ガウス以上である。正価は ¥3,400。



●ヘッド・イレーサー “HE-702”

録音機のヘッドの残留磁気を消磁するもので、録音品質を高めるためにぜひ必要なものである。使用電圧は AC 100~115V 50/60c/s, 入力消費電力は 100V, 0.7A, 正価は ¥580

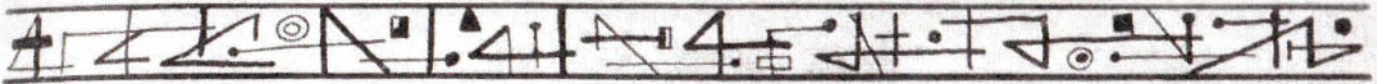


(東京都世田谷区代田 2 の 849)

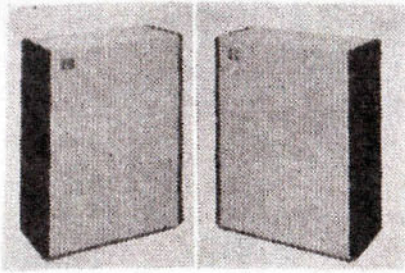
東京録音工業 K. K.

リオンの SP システム “SS-401”

小林理研の出したステレオ用スピーカー・システムである。同社の理想とする単一スピーカーで Hi-Fi をといることをねらったもので、スピーカー・ユニット “SD-481” は直径 20cm のハイ・コンプライアンス・ロングトラベル型でコーンは歪を防止する含泡合成樹脂のリングを持った高迫従性の周縁支持エッジを使用している。キャビはスーパー・パスレフ型で外形寸法は高さ 580×幅 424×奥行 250(mm)で



重量は14kgである。再生周波数は50~15000でc/sで $f_0 90 \pm 10$ c/sである。平均音圧レベルは98dB。VCインピーダンスは8 Ω 、最大許容入力7Wである。

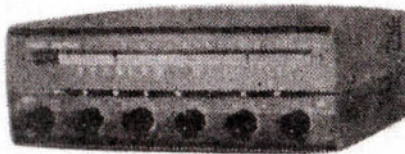


(東京都北多摩郡国分寺町 2431)

小林理研製作所

クライスラーのFMつきトリアンプ "STU-800"

FM、BC、SWの3バンド・チューナーのついた11球+2石のステレオHi-Fiアンプである。出力段は6BQ5シングルで、6W×2である。トーン・コントロール、チャンネル・バランス付。モノ・ステレオ切替、スピーカーはリパース可能となっている。外形寸法は横374×高さ140×奥行302(mm)である。

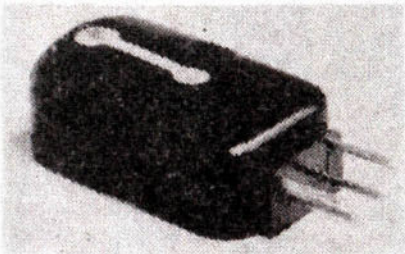


(東京都千代田区神田仲町 2の3)

クライスラー電気 K.K.

サテンのステレオ PU "M2-45"

このPUは同社の特許による0.01mm×0.1mmの極細アルミ・リボン線を渦巻円板状に巻き上げたムービング・コイル型で、モノラル用 "M1-LS" の姉妹品である。インピーダンスは箱抵抗35 Ω 、周波数範囲20~20,000 c/s、チャンネル・バランス±0.5dB、クロストーク25dB以上、針圧3~4g、出力電圧4.5mV/5cm/sec、ダイヤモンド・チップ付となっている。定価は¥7,800



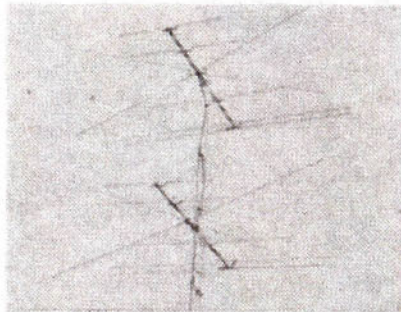
(東京都北区小山下総町 47)

塚本電気音響研究所

FBのTVアンテナ

Fbアンテナ製作所から新型の5素子遠距離用TVアンテナ5E-AC型が発売された。本アンテナはオール・チャンネル用でローバンドの利得が良好で、1~12チャンネルまで平均した画像が得られる。組立ては簡単で2段、4段にスタックすることも容易である。定価¥1,250。

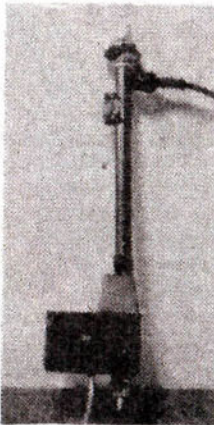
チャンネルNo.	利 得		使用可能 範囲
	1~3	4~12	
5E-AC 1段	3dB以上	6dB以上	放送局から 半径40km 程度以内
" 2段	5dB以上	8dB以上	60km程度 以内
" 4段	7dB以上	10dB以上	100km程度 以内



(東京都荒川区日暮里7の645)

FBアンテナ製作所

横尾の電動式自動車アンテナ



(東京都北区蒲野川7の10)

横尾製作所 K.K.

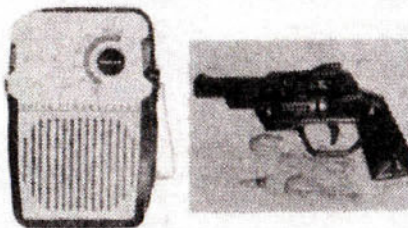
車内に取付けたスイッチ一つで自由にアンテナを伸縮できるカー・ラジオ用アンテナである。このアンテナの特徴は埋込パイプの上下部分にロータリー・スイッチが取付けられ、スイッチを入れるとアンテナが伸び完全に伸びきると自動的に停止する。下降の際も同じ動作が終るまでスイッチを押しておく必要はない。

ユニオン・ラジオの新製品2種

●2石ラジオ "TR-220"

AC-101、OC-72、とSD-46(ゲルダイ)を使用し、独特の高効率高周波トランスを採用しているので感度、分離はよい。スピーカーは6.3cmを使用している。

●ピストル型ゲルマ・ラジオ "HERLYE"

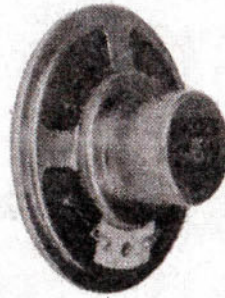


これは幼少年向きに製作したもので、同調はスライド方式を使用している。クリスタル・イヤホン、ワイヤー・アンテナ線、ビニール・サック付きで¥430。

(横浜市鶴見区下末吉町 915)

大成無線 K.K.

フォスターの小型スピーカー3種



これは特殊電気回路を持ったトランジスタ・ラジオ用スピーカーである。このシリーズのものは従来のものより一そう扁平になっているほか、ヨークの外径がきわめて小さく、スペース・ファクターを有利に解決している。

	口径Impd.		最大 入力 W	外径奥行		重量 g	正 価
	cm	Ω		mm	mm		
U-220	5	8	0.25	50	20.7	45	¥500
U-221	6	8	0.25	57	20.8	46	¥500
U-225	6.5	8	0.25	66	21.5	50	¥500

(東京都三鷹市下連雀 384)

フォスター電機 K.K.

サンヨーの新製品3種

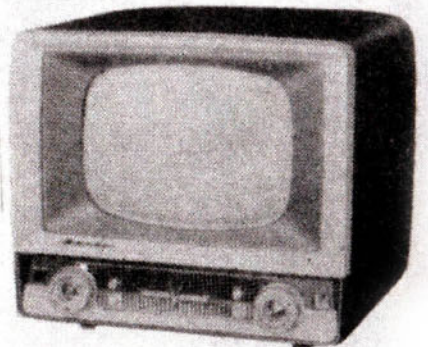
●5球2バンド・ラジオ "SF-670"

6BE6、6BA6、6AV5、6AR5、5MK9にGZE1という普通の5球スーパーであるが、スピーカーには18×12cmの楕円型メカニカル2ウェイ方式のものを2個使って音質を向上している。またラウドネス・コントロール回路もついている。外形寸法は550×340×220mmである。正価は¥15,800



●TV受像機 "14-H10"

14型の受像機で、チューナー回路は4B-HH2、5M-HH3を使って感度を上げている。ダンパー管には新種管12G-K17を使っている。ブラウン管14RP4Aはストレート・ガン方式で、電圧変動による崩れがなく、隅々まで鮮明な画像を得ることができる。スピーカーは15×10cmの楕円型である。音声出力は2.0W(歪率10%)。外形寸法は幅480×高さ455×奥行435mmである。正価は¥58,000



(大阪府守口市京阪本通 2の18)

三洋電機 K.K.